

小学生の「朝の居場所づくり」モデル事業を市内の3校で開始しました ～子どもたちが気持ちよく1日のスタートを切ることができる安心の居場所を創出～

川崎市では、朝の時間に子どもだけで過ごすことに不安を感じている家庭のニーズ等に対応し、保護者の安心と子どもの安全を守るため、地域の人材を活用し、小学校の始業前から児童を受け入れる「朝の居場所づくり」を進めています。

令和 8 年度は、各区 1 校でモデル事業を実施することを予定しており、**7月6日(月)に先行3区(幸区：新小倉小学校、高津区：久本小学校、宮前区：犬蔵小学校)でモデル事業を開始しました。**

朝の居場所を利用した児童は、小学校ごとに設定された図書室などの居場所で読書、勉強などをして過ごしました。

今後、先行モデル事業を実施する3校における取組状況を検証しながら、秋頃を目途に残り4区でのモデル事業を開始するとともに、市内全 115 小学校での設置に向けて、順次、設置校を拡大していくことを予定しています。

児童の声



・登校中に友達と待ち合わせして、昇降口が開くまでおしゃべりをしたり、本を読んだりして過ごしました。
・漢字の宿題を忘れてしまいましたが、朝のうちにできてよかったです。

仕事の時間に合わせて家を早く出ているので「朝の居場所」はよいと思います。このあと、下の子を保育園に連れていきます。

保護者の声



1 「朝の居場所づくり」モデル事業の概要

(1) 開始時期・開設日時

令和 8 年 7 月 6 日(月)に開設

開設日時は、学校課業日(平日)の午前 7 時 30 分頃から 8 時 10 分頃まで

(土曜・日曜・祝日・夏季休業などの長期休業期間等は開設しません)

(2) モデル事業実施校

幸区のモデル校 市立新小倉小学校(幸区新小倉 2-15) 2階メディアセンター

運営：NPO法人はたらくらす (幸区) 代表理事 石渡 裕美

法人名の由来は「働きかける」「働く」「暮らす」「クラス(集う・学ぶ)」がある街をイメージして、「はたらく」と「くらす」を掛け合わせたもの。「人が輝き、場が生まれ、街が育つ」をミッションに、年間 100 本以上のイベント、子育てサポート、地域での学びなど多彩な事業を展開しています。

高津区のモデル校 市立久本小学校(高津区久本 3-11-3) 1階図書室

運営：NPO法人高津区総合型スポーツクラブSELF (高津区) 理事長 菊地 正

「スポーツが育む・まち・みらい」という活動方針をテーマに掲げ、スポーツを通じた地域の活性化を目指しています。学校施設を核として多くの講座を実施するとともに、学校施設の管理、寺子屋事業の実施、居場所づくりなど、地域・行政・学校等との連携した事業を精力的に展開しています。

宮前区のモデル校 市立犬蔵小学校(宮前区犬蔵 1-3-1) 1階図書室

※7月14日～10月末までは校舎の工事に伴い「特別活動室」にて朝の居場所を開設

運営：いぬくら子ども文庫 (宮前区) 主宰 渡部 康夫

市内小学校の元司書教諭であった代表者の渡部康夫氏が、定年退職後、自宅を開放して、地域の子どもたちに本の紹介や貸し出し、読み聞かせをするなどの活動を行っています。朝の居場所事業に先立ち、令和 7 年度から犬蔵小学校で「朝の図書室開放」に仲間のボランティアと取り組んでいます。

(3) 利用対象

実施校に在籍する全児童

(4) 利用方法等

利用を希望する児童は、「利用カード」を持参して、小学校ごとに設定された図書室などの居場所で読書、勉強、朝の居場所スタッフとの会話などをして過ごします（登録不要・利用無料）。

2 開設初日の利用児童数

学校名	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計
新小倉小学校	14人	8人	14人	3人	3人	1人	43人
久本小学校	0人	9人	5人	11人	7人	9人	41人
犬蔵小学校	4人	4人	0人	16人	0人	5人	29人
合計	18人	21人	19人	30人	10人	15人	113人



新小倉小学校の様子



久本小学校の様子



犬蔵小学校の様子

問合せ先

川崎市教育委員会事務局地域教育推進室 金井

電話 044-200-0444 (内線 51803)